

日本骨髄バンクの現状（平成 19 年 10 月末現在）

	9 月	10 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,055	4,471	294,162	371,282
患者登録者数	151	209	2,357	23,755
骨髄移植例数	88	96	-	8,811

20 歳未満のドナー登録者数

10 月 367 人

合計 6,349 人（17 年 3 月～）

51 歳以上のドナー登録者数

10 月新規 128 人

延長 209 人

合計 8,880 人（17 年 9 月～）

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 骨髄バンク登録ドナーの保留解除処理のシステム不具合への対応について

11 月 10 日に一部の新聞、テレビにて「日赤のデータベース不具合。ドナー 3,688 人登録漏れ」という報道がありました。報道に至った経緯、今回の事態発生による患者さんへの影響と財団としての対処方針は以下のとおりです。

<経緯> 11 月 7 日、日本赤十字社より「今般、登録状態が保留となっている登録ドナーのうち、登録保留期限が過ぎたドナーの保留解除処理につき、システムの不具合により昨年 11 月 30 日から今年の 10 月 22 日までに 3,688 件の処理漏れがあった」との報告がありました。この結果、本来であれば検索されるはずの登録ドナーが適切な時期に検索されなかったという事態が発生しました。同件は 11 月 9 日に日本赤十字社からマスメディアに発表され、新聞・テレビにて報道されました。

<患者さんへの影響と財団の対処方針> 保留解除処理漏れのあった 3,688 名のドナーの保留解除処理をした結果、22 名の患者さんに対して 29 名がドナー候補として検索されました。この 22 名の患者さんのうち 13 名は、すでに HLA の条件が優位な他のドナーとのコーディネートが進んでいるか、ドナーの健康上の理由等によりコーディネートを進めることができない患者さんでした。したがってこの 13 名の患者さんについては今回の事態による影響は受けていないことから特段の対処は行っておりません。残りの 9 名の患者さんのうち 1 名は、さい帯血移植が終了しています。また 2 名は主治医の判断により、さい帯血移植を含む移植方針が決定しており、移植完了を見届けつつ、必要であればそのバックアップを準備します。コーディネート進行中の 3 名（ ）の患者さんについては、主治医と連絡をとりながら、可能な限り迅速なコーディネート遂行に注力していきます。なお、詳細は財団ホームページの「What's new」(<http://www.jmdp.or.jp>)をご覧ください。

（ ）当初は 6 名でしたが、その後、患者さんやドナーの諸事情により、現時点では 3 名となりました。

2 最終同意確認後の同意撤回に関する説明について

財団は 1994 年頃から、ドナーに対して「最終同意後は撤回できない」と説明してきました。これについて「いつでも辞退できる」などの表現に変更するかどうか 3 回にわたり常任理事会で審議した結果、現状どおり「最終同意後は撤回できない」との説明を継続することとされました。また、患者さんに対しては、「財団が十分に意思を確認した上でも、極めて例外的に翻意の申し出があり、万一このようなことがおきた場合は強制できないため提供いただけないことがあります。」と説明することとなりました。なお、検討のきっかけとなった WMDA（世界骨髄バンク機構）の認定に関しては、日本骨髄バンクがドナーに骨髄提供を強制しているものではないことから支障はないと理解されて最終的な承認が得られ、認定の運びとなりました。詳細な説明は、財団ホームページの「What's new」(<http://www.jmdp.or.jp>)をご覧ください。

3 骨髄バンク推進月間報告。東京モーターショーでは 17 日間連続登録会

10 月の骨髄バンク推進月間中のドナー登録者は前月比約 46% 増の 4,471 名になりました。推進月間中には全国各地でドナー登録会や支援イベントが多く開催されました。推進月間終盤の 10 月 26 日から 11 月 11 日まで、「第 40 回東京モーターショー2007」の会場において、開催全期間 17 日間にわたってドナー登録会が開催されました。モーターショーに来場した多くの方が登録会場へも足を運んでいただき、ドナー登録された方は 703 人にのぼりました。ご尽力いただきました行政や関係機関、またご協力いただいた支援ボランティアの皆さまにお礼申し上げます。

4 医療保険の適用拡大を求める署名を衆議院議長へ提出

平成20年度の診療報酬改定に向けて、非血縁者間骨髄移植にかかる医療保険の適用範囲拡大を請願するための署名活動が骨髄バンク関係団体等の皆様のご尽力により進められてまいりましたが、その結果を11月6日の骨髄バンク議員連盟(1)の総会において、財団から結果報告(2)いたしました。11月8日には、骨髄バンク議員連盟会長の野田聖子衆議院議員他7名が河野洋平衆議院議長に請願書を提出されました。今後は国会運営や時局を鑑みながら参議院議長にも提出される予定です。改めて、ご尽力いただいた多くの関係者の皆様に対しまして、心より感謝申し上げます。

1：衆議院議員64名、参議院議員20名、計84名（平成19年9月28日現在）

2：署名総数 / 458,577名（内訳：衆議院議長宛 / 229,503名、参議院議長宛 / 22,9074名）

5 今季もVリーグ試合会場でバンク支援。12月よりスタート

前年度、骨髄バンク支援をしていただいたバレーボールVリーグですが、今年度も12月8日から始まる「2007/08・プレミアリーグ」(及び「2007/08・チャレンジリーグ」)において、骨髄バンク支援がスタートします。来年4月5日、6日のファイナルラウンドまで各地の試合会場でドナー登録を呼びかけるチラシやVリーグのシール等が配られ、ファイナルラウンドではドナー登録会も予定されています。

6 10月のドナー登録会、区分別登録者数

全国各地のボランティア団体等の協力のもとで行われているドナー登録会の10月の区分別登録者数は、献血併行型集団登録会/2,277名、献血ルーム/1,402名、集団登録会/492名、その他/300名でした。

7 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
将来展望検討会議	公開	11月18日(日)14:00～ 廣瀬第1ビル2階会議室
データ・試料管理委員会	一部非公開	11月18日(日)16:00～ 廣瀬第2ビル地下会議室
常任理事会	公開	12月20日(木)17:00～ 廣瀬第1ビル2階会議室
将来展望検討会議	公開	12月22日(土)13:00～ 廣瀬第1ビル2階会議室

(事務移転のご連絡) 北海道地区事務局が下記に移転しました。電話番号、FAX番号の変更はありません。

〒001-0015 北海道札幌市北区北15条西4丁目2-16 NRKビル401号